

政治家という職業について私の想い。

一昨年の4月の臨時県議会において多くの議員皆様のご支持を得て、晴れて54代佐賀県議会議長に就任致しました。この間コロナ禍でもあり、立場上自身の健康をまず考えなければならなくなり、本来であればもっと多くの選挙区の皆様には直接お会いして様々なご意見を伺う機会もあったらうにと本当に残念に思っています。

しかし私は議長就任以来今日に至るまで佐賀県民の代表として県議会の長として全力でこの職責を全うし続けています。とはいえ幾つもの重要な政治課題は確かに残されており、来期もまた議席を与えて頂けるなら真正面から取り組む20の政治方針をここに発表します。

動かす男！藤木議長の20の約束

- 九州新幹線西九州ルート（武雄温泉駅から新鳥栖駅間）の問題の解決
- 諫早湾干拓潮受け堤防内からのこまめな排水の実現
- 住之江港物揚げ場等ノリ養殖業に必要な社会資本の整備
- 佐賀・唐津道路（多久／佐賀一期）の事業予算の大幅確保
- 国道203号線三日月地区内の歩道の整備
- 国道207号線牛津町本町交差点及び県道小城牛津線牛津小学校前交差点または佐賀外環状線山領交差点の改良の事業化
- 市内における老朽県管理河川の浚渫及び本格改築
- 牛津川遊水地建設に対する強力な支援
- 老朽ポンプの更新及び能力アップ等水害対策の強化
- クリーク防災事業の第二期工事の事業化及び宅地護岸の整備再開
- 現在の鳥獣被害対策の抜本的強化
- 農業の担い手不足対策としての先進機械の導入促進
- 免許返納者や障害者等の為のバス・タクシー等身近な交通手段への本格支援
- 部活動生を含む中高生の将来に備えた教育力の強化
- 佐賀県メディカルセンター好生館を通じた『がん』対策の強化
- 発達障害児、肢体不自由児等を抱えた保護者への支援強化
- スクールソーシャルワーカー制度及び児童相談所の体制強化
- 子育て中の一人親家庭、多胎児（双子、三つ子等）家庭への強力な支援
- 県立美術館、県立博物館、県立図書館の建て替え及び吉野ヶ里歴史博物館の建設
- 玄海原子力発電所の安全性確保及び県民保護計画の強化



議長室にてサガン鳥栖経営陣と(R3.3.30)

政治の仕事の本質とはつまるところ他人の人生や地域の暮らし、業界の営みの中に在る社会的な重い荷物を自らの意志で背負い込む作業です。そしてそれは自身のきつい荷物となり、その重さから解放されたいがために今ある制度の構造的欠陥を指摘し、自身が提起する制度の改善や創設、事業予算の確保など行政側を動かす為に必死になって努力する。当然、行政や周囲の議会人又はその関係者は私に問うて来ます。そんな大胆なことができるのかと。何よりあなたのその解決策は本当に正しいのですかと。私は課された自身の道義的正当性や論理的正当性を証明し続けねばなりません。何より身に潜む自身の偽善や欺瞞を自覚させられ、様々な葛藤を身に抱えながら行政に対し主張を続けて行くのです。荷は自分の意志で降ろすことは決してありません。つまり私自身が政治家として目の



中山間地域における復旧工事について現場の皆さんから意見聴取(R3.11.16)

前の政治課題を諦めれば何も始まることなく全てはそこで終わってしまうからです。そうやって耐えて忍び、思いを込めて伝え続けて行けばいつかその荷の一つ一つが確かに降ろされ、片付いて行く。そしてその瞬間！まるで同志のような僕の大切な人々の顔がほころび、満足げな顔がそこにあって、次の課題へ、また頑張ろう！という気持ちになって行くのです。

そういう意味では議会人にとって議会とは自身の待遇でもなければ地位でも名誉でもない。ましてや自己実現や自己表現の道具なんかでは断じてありません。理想のようですが、実現した正義。事態から解放された人々。解決し得た安堵

感。そのような事の為なら多少の混乱や軋轢、リスクやダメージがあってもこれを恐れず、自らが解決する！解決し切るとの強い覚悟をもって挑み続けるそのような仕事なのだと思っています。

私が敬愛する武者小路実篤という文豪に『この道よりほかに我を活かす道無し。この道を生きる。』という言葉があります。私は現役世代の代表として10年後20年後の次の世代に立派な佐賀県を遺す為いよいよ強力に物事を進めて参ります。



防衛省にて岸防衛大臣と(R3.7.7)

佐賀県議会議長 藤木 卓一郎

佐賀県議会議長 藤木 卓一郎

ここには書けなかった県政や選挙区の課題はもちろん沢山あります。それらのことも踏まえて、地元小城市役所や佐賀県執行部そして何より関係者皆様のご協力を頂きながらその目標達成に向けて誠心誠意努力することをお約束致します。